This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problems Mailbox.

JP-A-61-272984

1. TITLE OF THE INVENTION ELECTROSTRICTION EFFECT ELEMENT

2. WHAT IS CLAIMED IS:

An electrostriction effect element, wherein:

the end face of an internal electrode layer exposed to the side of a lamination where an electrostrictive material layer is laminated with it put between internal electrode layers and which is provided with a protective layer made of electrostrictive material touched to the upper and lower internal electrode layers is partially coated with an insulating protective layer;

further, an external electrode electrically connected to the internal electrode layer every other layer via conductive material is extended onto the protective layer; and

the external electrode extended onto the protective layer is electrically connected to the terminal of a lead.

19 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭61-272984

Mint Cl.4

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和61年(1986)12月3日

H 01 L 41/08

Z-7131-5F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

匈発明の名称

電歪効果素子

创特 昭60-114505 ❷出 願 昭60(1985)5月28日

四発

西

炁

東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

②出 願

日本電気株式会社

東京都港区芝5丁目33番1号

の代 理 弁理士 内 原

1. 発明の名称 世五効果業子

2. 特許請求の範囲

電道材層が内部電極層にはさまれて積層配設さ れ、かつ上下二層の該内部電極層に接した電査材 からなる保護層を有する積層体の側面に露出する 内部或極層の始面が部分的に絶縁性保護膜で被疑 され、さらに導触体によって前配内部単極層と一、 層おきには気的に接続する外部は極が、前記保護 層上に延長され、前記保護層上に延長形成された 外部電極上でリード端子と電気的に接続されたと とを特徴とする電盃効果案子。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はメカトロニクス機器に用いる電通効果 素子に関し、特に積層型の電歪効果素子の端子の

取り出し構造に関する。

〔従来の技術〕

従来、役居型の電盃効果素子は第3図に示す構 遺を採っている。第3図において1は複合ペロブ スカイト構造を有するチタン誰ジルコニウム贈鉛 からなるセラミックの電預材層であり、2は銀ー パラジウム合金を用いた内部電板層である。

3は内部電極層2の端面を一層おきに絶縁する ために被齎されている絶縁保護膜である。4 は内 部電極層2を一層おきに電気的接続するために被 滑した外部電板である。

通常、電流効果業子に電気信号を加えるために は、外部電極4化リード級5を半田6を介して半 田付けで取り付けている。

[発明が解決しよりとする問題点]

との半田付け時の半田量は出来るだけ少貴がよ い。その思由は半田量が多いと覚査効果素子動作 時の伸び縮みのときに半田6と外部電極4との間 に応力が働き動作時の信頼性が低下する。

少量の半田でリード級を半田付け接続するため

特開昭61-272984(2)

には、リード線の線径を小さくしなければならない。したがって線径が小さくなるとリード線が切れやすくなるなどの取扱上の欠点が生じる。

[問題点を解決するための手段]

本発明の目的はかかる従来欠点を除去した**地**道 効果素子を提供することにある。

本発明の電盃効果素子は電気材簡が内部電極層にはさまれて機層配設され、かつ上下2層の内部 電電層に接した電弧材からなる保護層を有する検 層体の側面に緩出する内部電極層の端面が部分的 に絶縁性保護膜で被覆され、さらに導性体によっ て内部電極層と1層かきに電気的に接続する外部 電極が保護層上に延長され、保護層上に延長形成 された外部電極上でリード端子が電気的に接続さ れたことを特徴とする。

(突施例)

以下、本苑明について図面を参照して説明する。 第1図は本発明の一実施例の電査効果素子の斜 視図である。

図中、1は厚さ0.1mmのチタン酸ジルコニウム

シートを被潛形成する。

次にポリエステルフィルムからグリーンシート を剝離した後、尖ーパラジウムペーストなどの導 体ペーストをスクリーン印刷により所定の形状に 内部電極層2を形成する。

このグリーンシートを所望の枚数だけ根み重ね、 熱プレスで上下から圧着して電歪材の積層体を形 放する。

このグリーンシートの積層時に内部電極圏2を 形成したグリーンシートの上、下にそれぞれ20 ~30枚の内部電極層の形成されていないグリー ンシートを横み重ねてダミー層としての保護層を 形成する。

次にこの積層体に含まれる有機パインダーを高温で分解して蒸発除去させてから上昇スピード 5℃/分 で温度1120℃ まで上昇させ、温度 1120℃ で2時間保持して焼結を行う。

焼結させた機屑体を内周刃切断機で所設の厚み に切断して第2図(a)に示すようなスライス板を作 製する。スライス板の切断面には内部地極脳2の 酸鉛からなるセラミックの電査材刷、2は厚さ5 μm の銀ーパラジウム合金を用いた内部電極層 3 は内部電極層2の端面を一層かきに絶縁とはは極層である。 厚さ15 μm のガラス皮膜の絶線保護膜、4は銀ペースト被溜させた外部電極、5は直径0.2 μm のポリウレタン被役網線などのリード観、6は半回のポリウレタン被役網線などのリード観が3を電気的接続する共品半田などの半田である。この外部電極4とリード線5とを接続する半田6は、圧壌層7上に延長して形成された外部電極4に接続させている。

次に本典施例を製造工程順に説明する。

端部が露出しているので、一層おきに電気的接続を取るために、逆に内部電板層2の端部を一層おきに電気泳動法によりガラスからなる絶縁保護膜3を被宥形成する。

次に第2図(b)に示すようにダミー層としての保 護層でにまで鍛ペーストをスクリーン印刷などに より外部電磁4を延長して形成する。このように 保護層7上に形成された外部電極4上に半田付け により直径0.5 mm がのリード線5を接続して電歪 効果素子を作製する。

(発明の効果)

以上、説明したように本発明の電面効果素子の リード線が直径 0.5 mm以上の太さのものを利用で まるので取扱い上、切断することなくリード級の 信頼性が向上する効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の電盃効果素子の斜視図、第2 図(a),(b)は本発明の電面効果象子の製造過程で作 製されるスライス板の射視図、第3図は従来の電

特開昭61-272984(3)

盃効果案子の斜視図である。

代理人 弁理士 内 原 晋 (赤)







